

(4)香川県と外国の都市との交流協定

③ ベトナム社会主義共和国ハイフォン市

日本国香川県とベトナム社会主義共和国ハイフォン市との 交流及び協力関係の構築に関する覚書

香川県とハイフォン市人民委員会(以下、個別に「当事者」、総称して「両者」という)は、相互理解を深め、より積極的に交流と協力を促進することで、香川県とハイフォン市の今後の発展に貢献することを目的とし、「両自治体の交流及び協力関係の構築に関する覚書」(以下、「覚書」という)に署名することに同意した。本覚書を実施するために、両自治体は、次のことを行うことに合意した。

第一条 交流及び協力の原則

両者の交流及び協力は、両者の役割、義務及び権限、それぞれの国の法令及び規則、両国が締結している国際条約に従って行う。

第二条 交流及び協力の内容

- 1 両地域の発展のため、交流活動を促進する。
- 2 両地域の行政関係者による相互訪問を促進する。
- 3 観光、文化、教育、経済、科学技術の分野における地域間交流を促進するために協力する。

第三条 交流及び協力の手段

- 1 香川県国際課及びハイフォン市外務局は、両自治体間の定期的な情報交換及び交流・協力に関する業務の調整を担当する窓口となる。
- 2 本覚書は、いかなる当事者に対しても法的拘束力のある義務を生じさせたり構成させたりするものではない。
- 3 本覚書は署名時から有効となり、5年間の効力を有する。5年後、更新前に、両者は必要に応じて、条件を再度協議する。

本覚書は2024年8月29日にハイフォン市において署名する。日本語、ベトナム語、英語により2部ずつ作成し、いずれの文書も等しく効力を有する。解釈の相違が生じた場合は、英語版を優先する。

日本国香川県
香川県副知事
大山 智

ベトナム社会主義共和国ハイフォン市
ハイフォン市人民委員会副委員長
Hoang Minh Cuong

ハイフォン市の概要

ハイフォン市は、首都ハノイ市から106km東に位置しており、ハノイ市やホーチミン市と同様に中央直轄市5つの中の1つである。古くから防衛の面で重要な役割を果たしてきたほか、港湾や観光資源などの開発を積極的に進めており、ベトナム北部最大の港湾都市として、ハイフォン市やその周辺地域の経済発展に大きく貢献をしている。

- ・ 総面積 1,527km²
- ・ 人口 235万人(2022年)国内3位



ベトナム北部